

3年生	道徳学習指導案	授業者	水口 和也
題材名	雨の日のチャボ当番 4 - (2) すすんで働く		
本時のねらい	はじめはいやだったチャボ当番の仕事なのに、雨にぬれることも気にせず床を削ったり皿に付いたふんや泥を落として働く4人の気持ちの変容をとらえることで、精一杯仕事をする事のよさを感じ、進んで働こうとする態度を育てる。		
研究内容1	毎日の班での係り活動や掃除、飼育当番などこれまで多くの勤労の体験をしてきている。しかしながら「言われたからやった」「しかられるからやった」といった意識でいる児童が多い。しかしながら、教師が見届けることや上級生から認められることで「やってよかったなあ」という思いを持つ児童も多い。そうした思いを再び持つことで自分自身の行動(勤労)の持つ意味を再認識させたい。		
	学習活動	研究内容2	
導入	<p>今までつらかったお手伝いはありますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草取りが暑くて大変だったよ ・寒いときに雪かきをして手が凍りそうだったよ ・かぶら市で大根を運ぶのが大変だったよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験と(自己みつめの場)と結びつけるためにきちんと位置づける 	
展開前段	<p>資料提示(教師の範読)</p> <p>どんなことを思いましたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで仕事をやってえらいなあ ・やりたくないって気持ちはよくわかるなあ ・何でやりたくないといっていたのに一生懸命やったのかな <p>チャボ当番をいやだと思ったのはどうしてなんだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨が降っているから、ぬれてしまう ・小屋の中がぬれて汚いよ ・チャボを追い出さなきゃいけないよ ・ゆかそうじが大変だよ ・えさをかえなきゃならないよ ・チャボをもどさなきゃならないよ <p>おいしそうにえさを食べているチャボを見てどう思いましたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャボが喜んでうれしいな ・やってよかったな <p>掃除を終えた4人にはどんなことを話しているかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚いのに一生懸命削って小屋の板が出てきてうれしい ・今までこびりついた分までとれたからいい気持ちだ ・汗をかいて気持ちいいなあ ・チャボがおいしそうにえさを食べてくれたからよかった ・最後までがんばれたから気持ちいいね ・みんなががんばったからきれいになったんだね 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感想から第1発問へとつなぐことで子どもの意識をとぎれないようにする ・掃除をする前の様子についてつかませることで掃除の大変さについて理解を深めさせる 小屋の掃除ってどんなところが大変なのかな(ゆかのそうじの大変さについて詳しく聞くことで掃除の大変さをつかませたい) チャボを追い出すのがそんなに大変なの(飼育当番の経験を出させる) ・4人の気持ちについて次の視点で価値を位置づける 満足感と成就感 汗を流すさわやかさ 協力するよさ 責任感 	
展開後段	<p>みんなも4人と同じ気持ちになったことがありますか。振り返ってみましょう。(プリントに書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級園の草取りが大変だったけどやりおえたら気持ちよかったよ ・飼育当番で「面倒だなあ」と思ったけど、休みの日に来て餌をあげたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己みつめの場として時間を確保する。じっくりと自己みつめができるよう書かせたい ・思いを表現する場として自己みつめができた子どもを意図的に指名する。 	
終末	説話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶらと大根の収穫のときの児童の日記を読む 	

